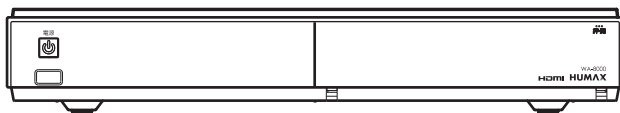
HUMAX

CATV デジタル放送受信用
セットトップボックス
WA-8000

スタートアップガイド

このたびはケーブルテレビ局にご加入いただきありがとうございます。
製品を安全に正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになりご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	⚠ 注意
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警 告

電源プラグや電源コードは

禁 止

ACアダプターのコードやプラグを傷つけない

コードの損傷は火災や感電の原因となります。
このような事故を防ぐためには次のような注意事項を守ってください。

- コードやプラグを勝手に分解しないでください。
- コードを無理に折り曲げないでください。
- コードの上に物を置かないでください。
- コード表面のビニールが溶けるのを防ぐため、電熱機器に近づけないでください。
- ACアダプターを抜くときはコードを無理に引っ張らないで、プラグを持って抜いてください。

禁 止

本機の電源は必ず付属の専用ACアダプターを使用し、他のACアダプターは使用しない
また、本機に付属のACアダプターは他の製品には使用しない

禁 止

雷が鳴っているときは本体やACアダプター、プラグに触らない

感電の原因となります。

禁 止

タコ足配線をしない

火災の原因となる場合があります。

接触禁止

ぬれた手でACアダプターを触らない

感電の原因となります。

電圧AC100V

交流100V以外では使用しない

本機は日本国内用です。交流100ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセントにつないでください。他の電源電圧を使うと火災や感電の危険が生じます。

注 意

ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

ご使用の際は

水ぬれ禁止

内部に水が入らないようにする

火災や感電の原因となります。

- 本機の上やそばに水が入っている容器を置かないでください。
- 浴室などの水のかかるおそれのある場所では使用しないでください。
- 窓際に置く場合は雨や雪、結露にご注意ください。

禁 止

内部に金属類や燃えやすい物を入れない

火災や感電の原因となります。

注 意

異常が起きたときは使用をただちに中止する

火災や感電事故の原因となります。
次のような症状が現れた場合、電源を切ってACアダプターをコンセントから抜いた後、ケーブルテレビ局までご連絡ください。

- おかしい音やにおいがする。煙が出る。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機の一部が壊れた。
- 正常に動かない。
- ACアダプターやプラグが壊れた。
- ACアダプターの一部分が特に熱い。
- 本機を落としてしまった。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告（つづき）

お手入れの際は

分解禁止

本体を分解しない

感電の原因および保証対象外となります。故障や内部を点検するときは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

注意

感電事故を防ぐため、アンテナケーブルを本体へ接続したりはずしたりするとき、あるいは本機を移動するときには、必ずACアダプターをコンセントから抜く

注意

ACアダプターのほこりは定期的に掃除する

湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

プラグを抜く

長期間ご使用にならない場合やお手入れの際にはACアダプターを抜く

⚠ 注意

設置や接続、移動の際は

禁止

水平で安定している場所に置く また、重いものを乗せたりしない

転倒・落下によるケガの原因となります。

禁止

風通しの良い場所に置く

- 本機の側面にある放熱用の穴をふさがないでください。

- カーペットやクッションなど、安定の悪いところには置かないでください。

- 暖房器具のそばや直射日光にあたる場所、または40℃以上になる場所には置かないでください。

禁止

湿気やほこりが多い場所、油煙や水蒸気のある所には置かない

火災や感電の原因となる場合があります。

必ず守る

他の電気機器とつないで使用する場合は、接続機器の安全事項も守る

機器に損傷を与える場合があります。

必ず守る

本機を移動するときは、必ず接続線をはずして行う

コードや接続している機器が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

ご加入のケーブルテレビ局専用の IC カード以外は挿入しない

本機の IC カード挿入口に正規の IC カード以外のものを挿入すると、故障したり破損したりすることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔がふさがれると機器の温度が上昇し、動作不具合もしくは故障の原因となります。通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

本機と他の機器を重ねて設置しない

他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

静止画像（動かない映像）を長時間映したままにしない

本機に接続されたテレビやプロジェクターに静止画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残るおそれがあります。

本機の受信周波数帯域と同じ周波数を用いた機器を近づけない

本機の受信周波数帯域（90MHz～770MHz）に相当する周波数を用いた機器を、本機やケーブルテレビ宅内線を接続している機器に近づけると、不具合が生じる場合があります。これらの機器は離してご使用ください。

■電源の起動／終了時のご注意

本機はシステム全体の最適化を行うため、スタンバイから動作状態への移行、逆に動作状態からスタンバイへの移行に時間がかかる場合があります。電源の起動／終了直後に AC アダプターの抜き差しを行わないでください。

■テレビとの接続について

テレビを接続する際、ビデオや DVD レコーダーなどの録画機器を介して接続すると、コピー制御信号により映像がきれいに映らない場合があります。テレビは本機の映像・音声出力端子に直接接続してください。

■結露（つゆつき）について

- 暖かい部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。これを結露（またはつゆつき）と呼びます。本機に結露が発生した場合は乾燥させないかぎり、本機はご使用になれません。
- 本機はよく乾燥した状態でお使いください。結露が発生した場合、AC アダプターをコンセントへ差し込み、電源を入れて約 1～2 時間、または、電源を入れないで 2～3 時間、乾燥するまで放置した上で本機をご使用ください。
- 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。

– 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
– 急に部屋を暖房したとき
– エアコンなどの冷風が直接当たるところ
– 湿気の多いところ

■お手入れについて

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は ARIB（電波産業会）規格および日本ケーブルラボ規格に基づいた製品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、製品仕様を変更する場合があります。
- HDMI および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- 本機には著作権保護技術を採用しており、ROVI Corporation およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には ROVI Corporation の許可が必要であり、また、ROVI Corporation の特別な許可がない限り、家庭用およびその他一部の観賞用での使用に制限されています。
分解したり、改造することも禁じられています。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 取扱説明書に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などはそれぞれの会社の登録商標です。

無線 LAN および RF リモコン使用時のご注意

使用上のご注意

1. 電波を使う機器から離してご使用ください。

本機の内蔵無線 LAN の使用周波数は 2.4GHz/5GHz 帯、RF リモコンをご利用時の使用周波数は 2.4GHz です。
本機の設置状況によっては、電波の干渉による悪影響が生じるおそれがあるため、次の機器からできるだけ離して設置してください。

- 電子レンジ、他の無線 LAN 機器、Bluetooth 対応機器
- その他 2.4GHz、5GHz の電波を使用する機器（デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）

2. 電波状況によっては、通信が途切れたり、正常に通信できない場合があります。

3. 万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、機器の使用を停止してください。

4. その他、何かわからないときや困ったときは、ご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

安全上のご注意

⚠ 警告

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用すること

電波によりペースメーカーの作動に影響を与えるおそれがあります。

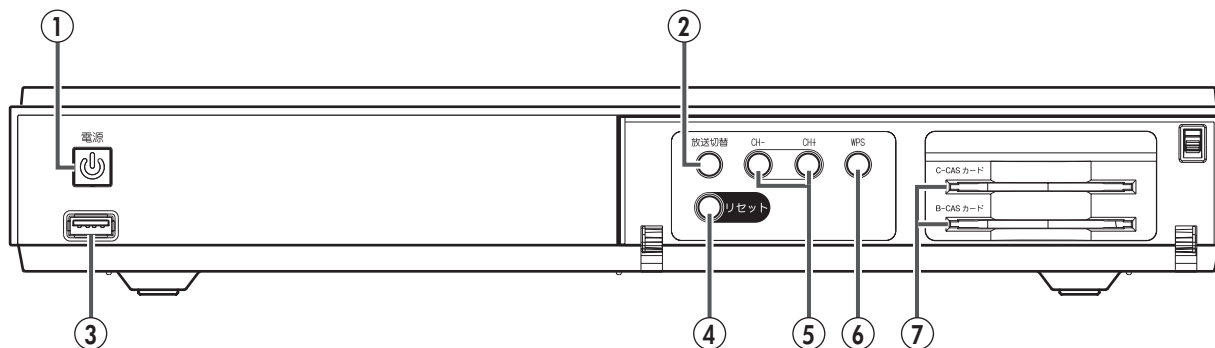
病院内など医療用電気機器の近くでは使用しない

電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。

電波法に基づく注意事項について

W56 帯域以外の 5GHz 無線 LAN 機能を屋外で使用することは、電波法令により禁止されています。
本機の内蔵無線 LAN を分解 / 改造する行為は、法律で罰せられることがあります。

各部のなまえとはたらき

前 面 （前面の扉を開いた状態）

① 電源ボタン

本機の電源をオン／オフします。

② 放送切替ボタン

地上・BS・CS デジタル放送に切り換えます。

③ USB 端子（5V 1A）

USB 機器を接続します。

④ リセットボタン

動作異常により本機の操作ができなくなった場合に使用します。

⑤ CH ＋ / －ボタン

番組視聴時にチャンネルを切り換えます。

⑥ WPS ボタン

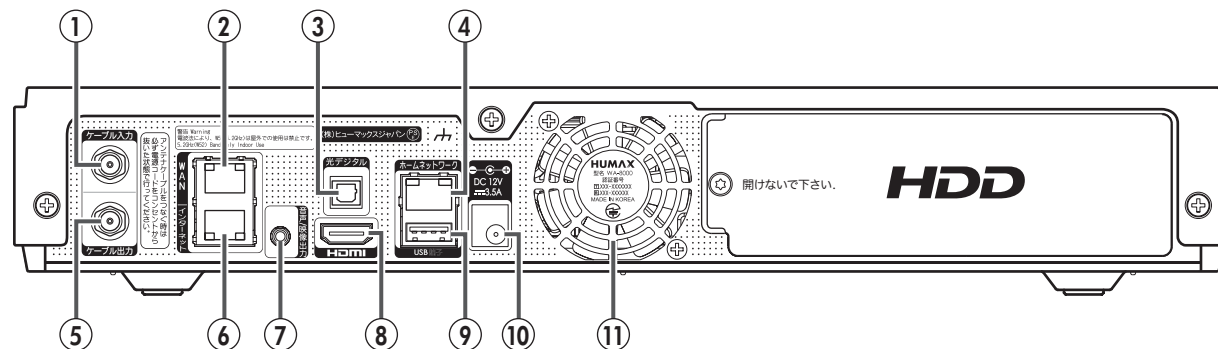
無線 LAN 設定を行うときに使用します。

⑦ IC カード挿入口

IC カードを挿入します。

・上段：C-CAS カード挿入口
・下段：B-CAS カード挿入口

各部のなまえとはたらき（つづき）

背 面

① ケーブル入力端子

ケーブルテレビ宅内線を接続し、放送の受信やケーブルネットワークに接続します。
受信周波数 76MHz ～ 1GHz

② WAN 端子

モデム（ケーブル /ADSL/FTTH）などWAN 回線に接続します。

③ 光デジタル端子（角型）

光デジタル音声入力端子のあるオーディオ機器に接続する場合に使用します。

④ ホームネットワーク端子

LAN 回線を接続します。

⑤ ケーブル出力端子

分配出力 76MHz ～ 1GHz

⑥ インターネット端子

（現在は使用しません。）

⑦ 音声 / 映像出力端子

テレビの映像・音声各入力端子に接続します。

⑧ HDMI 端子

HDMI 入力端子のあるテレビに接続する場合に使用します。

⑨ USB 端子（5V 500mA）

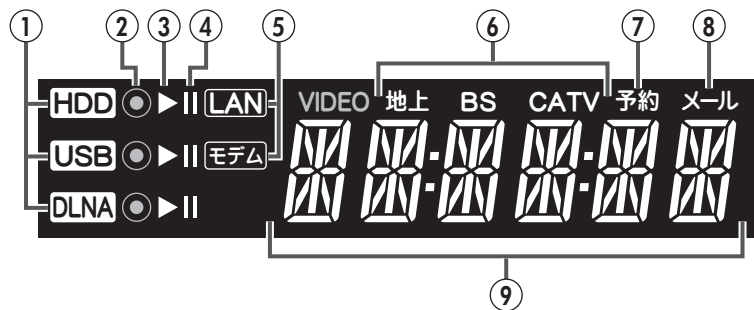
USB 機器を接続します。

⑩ 電源入力端子

付属の AC アダプターを接続します。

⑪ 冷却用ファン

各部のなまえとはたらき（つづき）

表示部

① HDD/USB/DLNA

各モードの実行中に点灯します。

② 録画

録画中に点灯します。
シングル録画中 ：●
ダブル録画中　 ：◉

③ 再生

再生中に点灯します。

④ 一時停止

一時停止中に点灯します。

⑤ LAN/ モデム

各機器の通信時に点灯します。

⑥ 地上 /BS/CATV

各放送の受信中に点灯します。

⑦ 予約

視聴予約または録画予約があるときに点灯します。

⑧ メール

未読メールがあるときに点灯します。

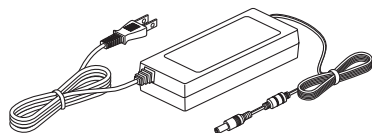
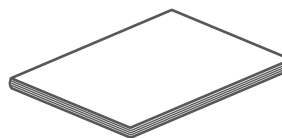
⑨ 動作表示部

チャンネル番号や時間など、本機の状態を表示します。

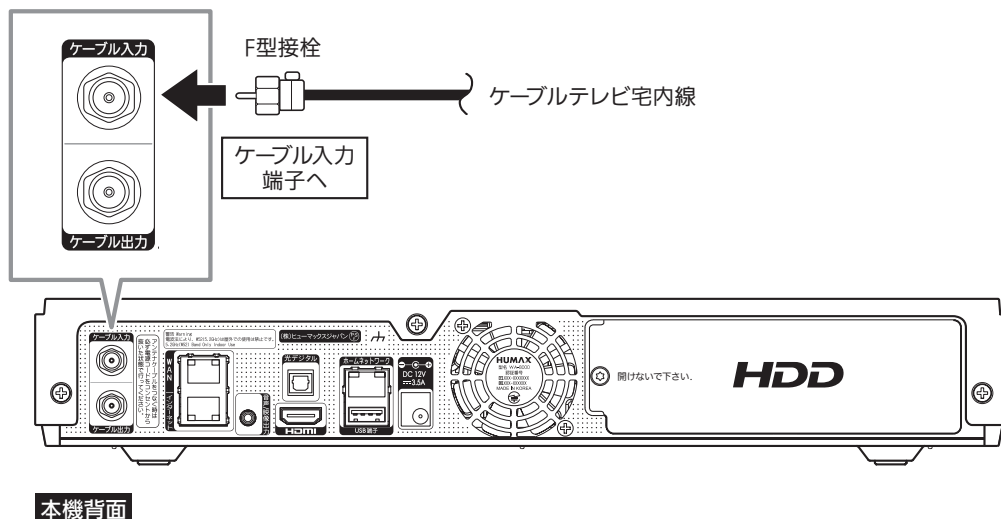
はじめに
機器の準備をする
こんなときは

機器の準備をする

付属品を確認する

設置・接続の前にまず付属品を確かめてください。

□ AC アダプター【1.5m】（1個）	□ 取扱説明書　（1冊）

- イラストはイメージであり、実物とは形状が異なる場合があります。
- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局によって、上記以外の付属品がある場合があります。詳しくはご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

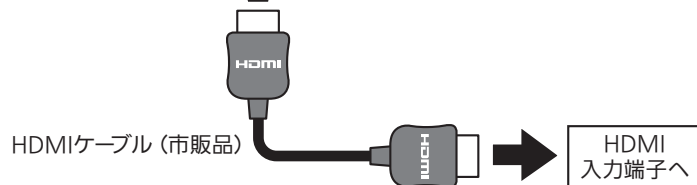
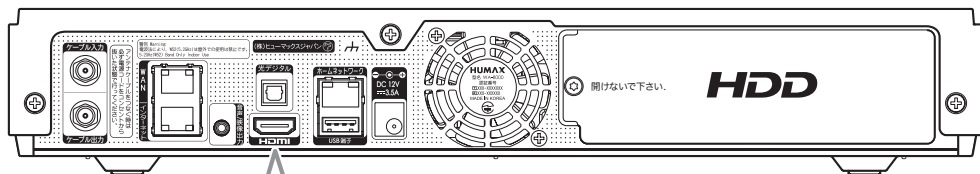
ケーブルテレビ宅内線をつなぐ

ケーブルテレビ宅内線を本機背面のケーブル入力端子に接続します。

ご注意

- すべての接続は、本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続していない状態で行ってください。
- ケーブル入力端子・出力端子にF型接栓を接続するときは、手でゆるまない程度に締めつけてください。
  締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。

テレビにつなぐ

HDMI 入力端子付きテレビの場合

市販の HDMI ケーブルで接続します。

ご注意

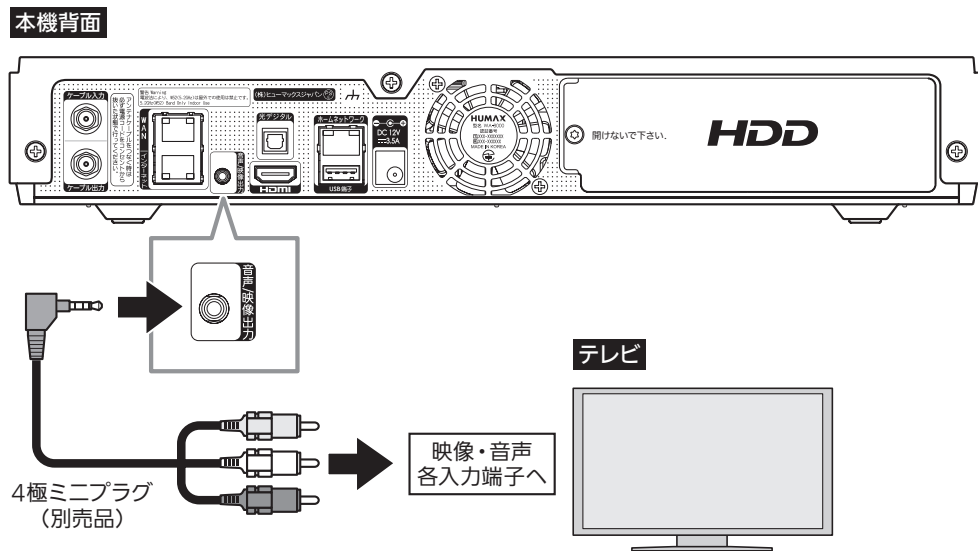
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に準拠した HDMI ロゴのある High Speed HDMI ケーブル（別売品）をご使用ください。
- HDMI ケーブルは、コネクター部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機の HDMI 出力端子は、DVI 入力端子付きディスプレイモニターや DVI － HDMI ケーブルには対応していません。HDMI 入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI 規格に準拠していれば利用できます。

ご参考

- **HDMI 端子について**
  映像・音声およびコントロール信号を 1 本のケーブルでデジタル伝送できるため、デジタルハイビジョン放送などをより鮮明な映像で楽しめます。

テレビにつなぐ（つづき）

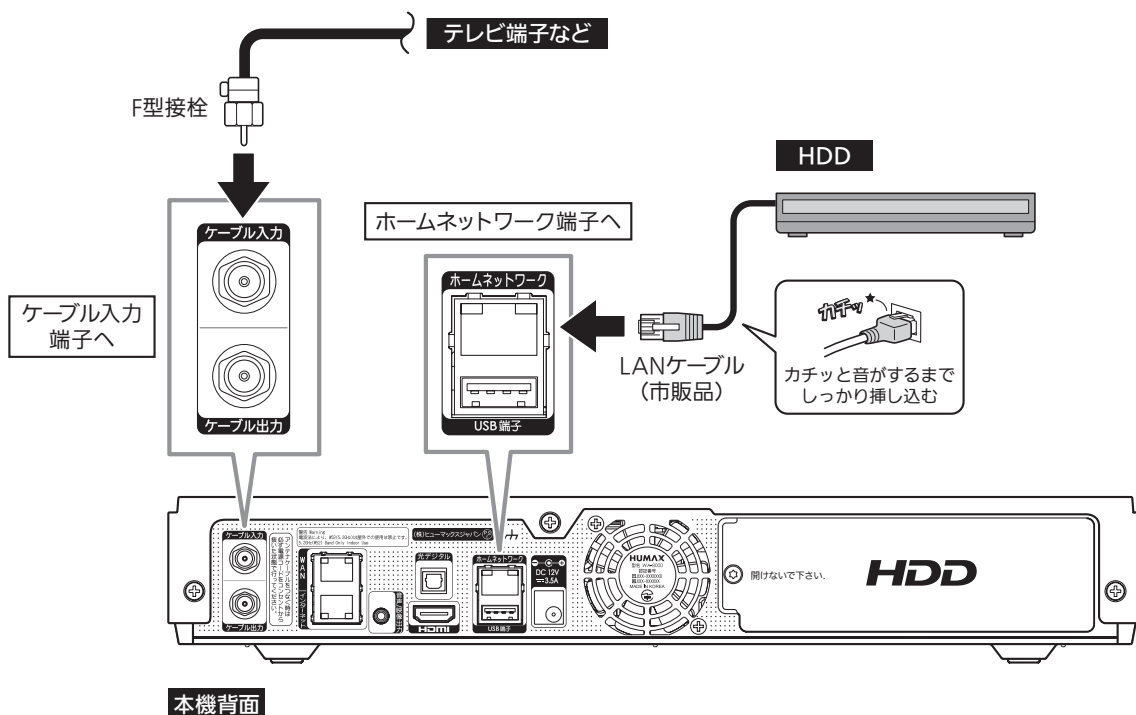
映像・音声（コンポジット）入力端子付きテレビの場合

別売品の 4 極ミニプラグで接続します。
4 極ミニプラグについては、ご契約のケーブルテレビ局または販売店にお問い合わせください。

テレビとの接続について

テレビを接続する際、ビデオや DVD レコーダーなどの録画機器を介して接続すると、コピー制御信号により映像がきれいに映らない場合があります。テレビは本機の映像・音声出力端子に直接接続してください。

インターネットにつなぐ

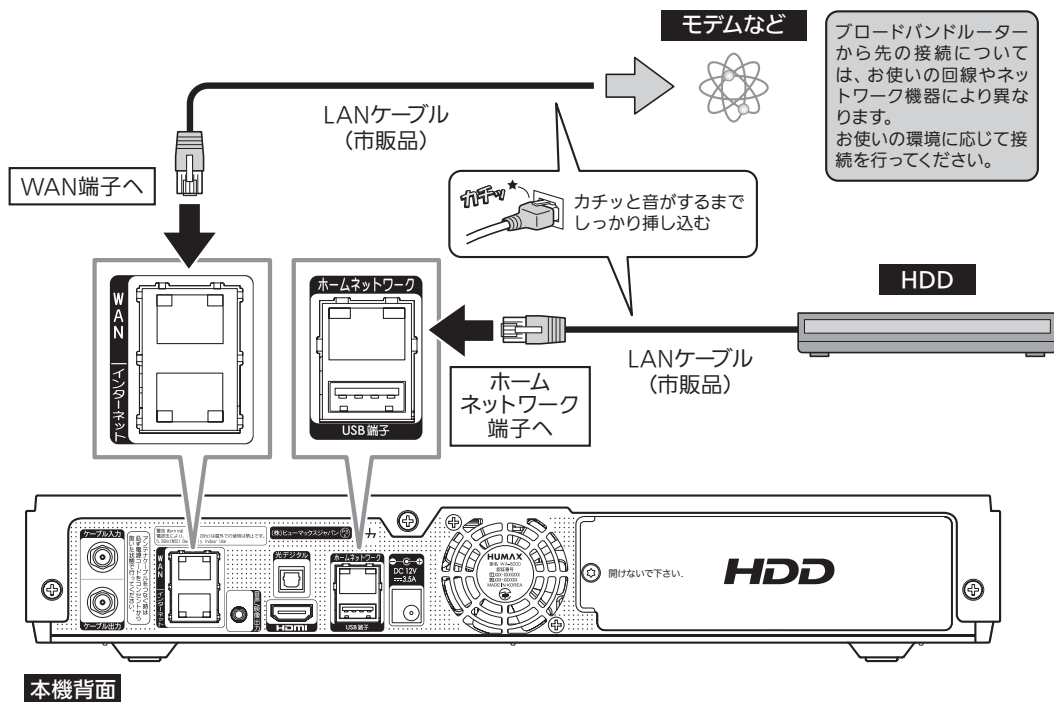
デジタル放送のデータ放送や双方向通信などを、ブロードバンド回線経由で利用する場合、
LAN 回線の接続および設定を行う必要があります。

ホームネットワークと併用し、インターネットをケーブル接続（ケーブルモデム機能）で利用する場合

インターネット接続について

本書に記載の内容は一例です。お使いの機器やご契約のインターネット回線の種別などにより接続方法は異なります。
モデムやルーター、パソコンなどの接続・設定方法等については、各機器の取扱説明書を参照してください。
インターネット接続の設定や変更については、ご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

※ ケーブル接続と WAN 端子は同時に利用することはできません。
※ 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。
※ LAN ケーブルは 100BASE-TX 以上のストレートケーブルをご使用ください。
※ ケーブル接続の確立中は、本体前面のモデムランプが点灯します。
※ ホームネットワーク接続の確立中は、本体前面の LAN ランプが点灯します。

インターネットにつなぐ（つづき）

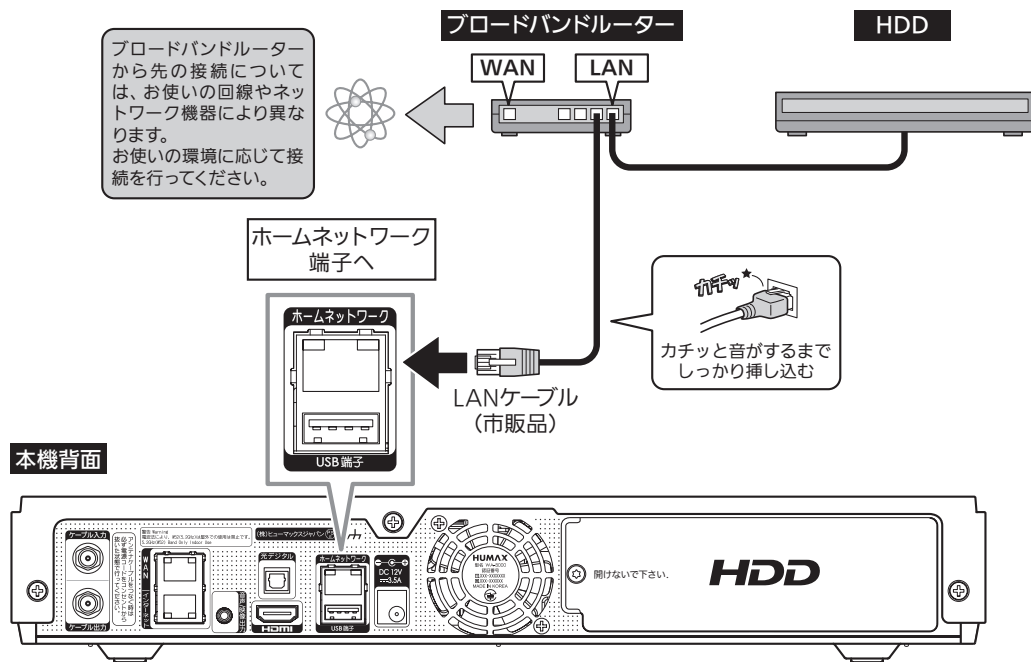
ホームネットワークと併用し、インターネットを WAN 端子で利用する場合

※ WAN 端子とケーブル接続は同時に利用することはできません。

※ 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

※ LAN ケーブルは 100BASE-TX 以上のストレートケーブルをご使用ください。

※ ホームネットワーク接続の確立中は、本体前面の LAN ランプが点灯します。

インターネットにつなぐ（つづき）

ホームネットワークと併用し、インターネットをホームネットワーク端子で利用する場合

※ ホームネットワーク端子からのインターネット接続は、ケーブル接続および WAN 端子を利用しない場合のみ可能です。

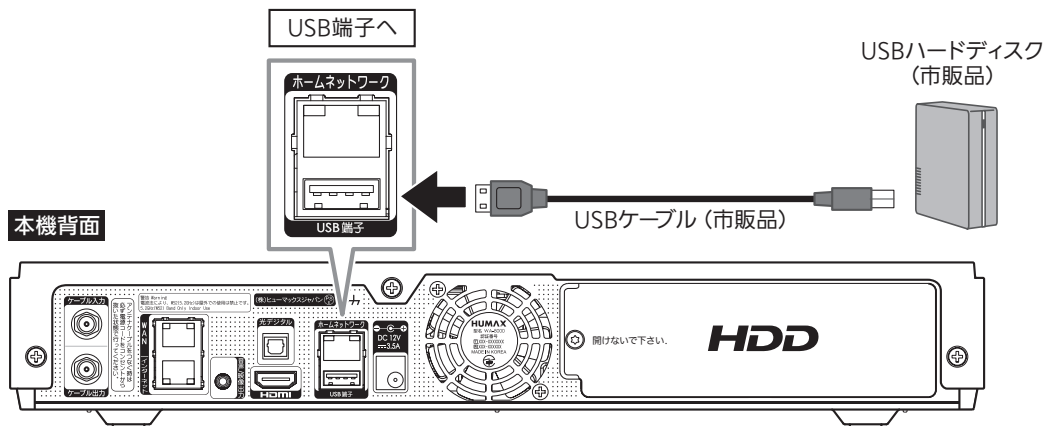
※ 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

※ LAN ケーブルは 100BASE-TX 以上のストレートケーブルをご使用ください。

※ ホームネットワーク接続の確立中は、本体前面の LAN ランプが点灯します。

USB ハードディスクをつなぐ

本機に搭載されている内蔵ハードディスクとは別に、市販の USB ハードディスクを接続して、お好みのテレビ番組を録画・再生することができます。
USB ハードディスクは 7 台まで登録でき、そのうち 2 台まで同時に使用することができます。

USB ハードディスク 1 台を接続する場合

ご注意

- 初めて接続する USB ハードディスクは、はじめにフォーマット（初期化）が必要です。
  フォーマットを行うと、USB ハードディスク内の内容はすべて消去されますので、くれぐれもご注意ください。
- 本機はセルフパワー方式の USB ハードディスクのみ接続が可能です。バスパワー方式の USB ハードディスクには対応していません。
- USB ハードディスクの動作中に USB ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。録画内容が消えたり故障の原因になります。

ご参考

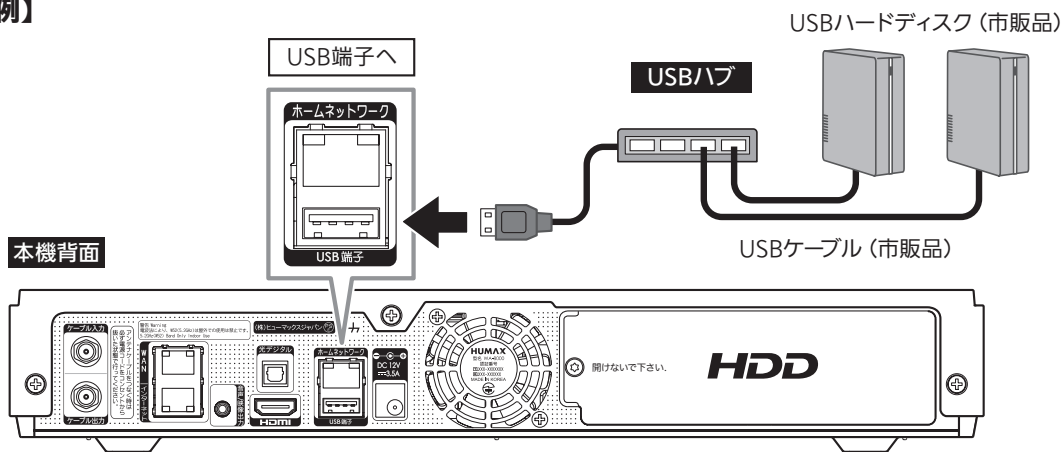
- 本機に接続できる USB ハードディスクの情報は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- 本機前面の USB 端子（➡ 7 ページ参照）にも USB ハードディスクを接続できます。

※ 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

USB ハードディスクをつなぐ（つづき）

USB ハードディスクを 2 台接続する場合

USB ハブ（市販品）を使用して USB ハードディスクを 2 台接続する場合の例

【接続例】

ご注意

・複数の USB ハブを経由して USB ハードディスクを接続することはできません。

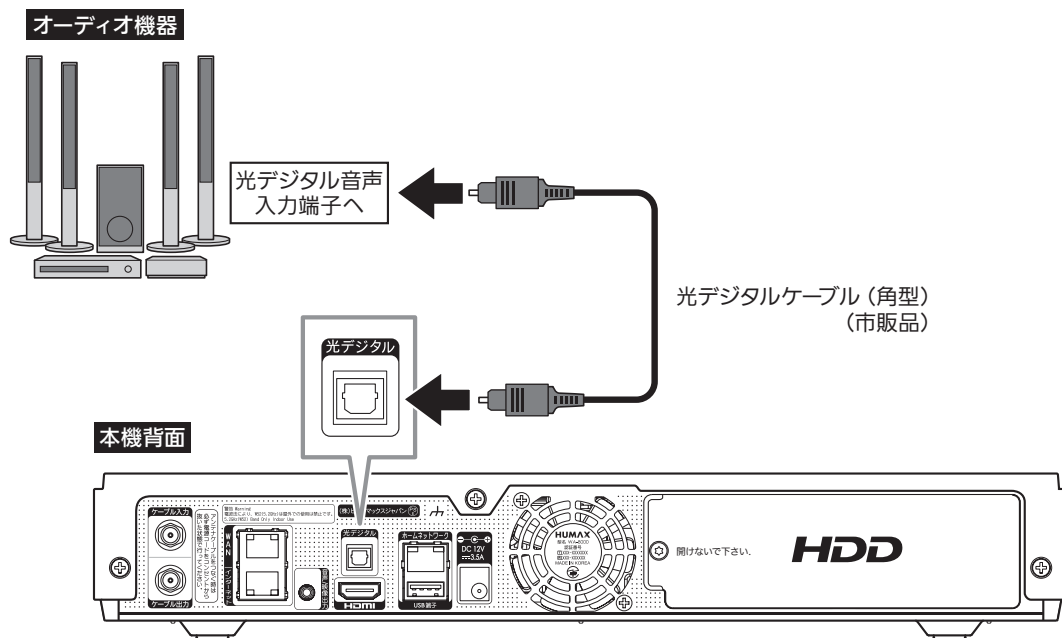
※ 電源コードは、すべての接続が終わったあとでつなぎます。

ご参考

・本機前面・背面それぞれの USB 端子に 1 台ずつ接続してお使いいただくこともできます。

オーディオ機器をつなぐ

デジタル音声入力対応のオーディオ機器と接続すると、デジタル放送のマルチチャンネル音声などを楽しむことができます。

本機の光デジタル音声出力端子とオーディオ機器の光デジタル音声入力端子を、市販の光デジタルケーブルを使ってつなぐ

本機にオーディオ機器を接続しない場合、この手順は不要です。
（「IC カードを挿入する」
（➡次ページ）へ進む）

オーディオ機器側の接続・設定方法等については、それらの取扱説明書を参照してください。

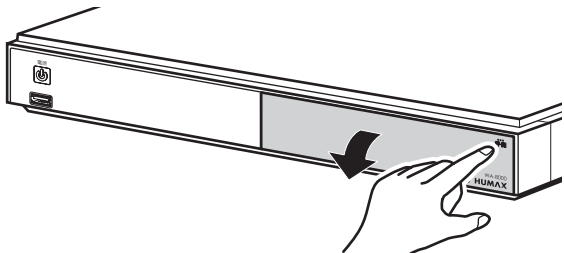
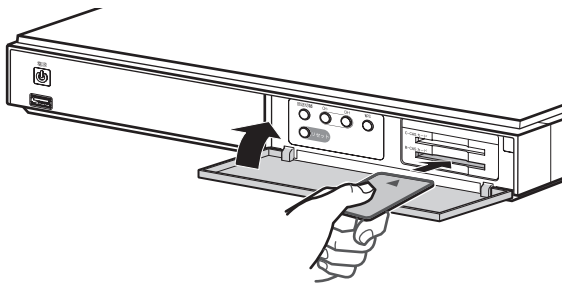
はじめに
機器の準備をする
こんなときは

IC カードを挿入する

BS・地上デジタル放送を視聴するには、IC カード（B-CAS カード）が必要です。

1 **AC アダプターがコンセントに差し込まれていないことを確認する（AC アダプターを抜いた状態）**

2 **前面の扉を開ける**

くぼみに指をかけ扉を手前に引いてください。

3 **IC カード（B-CAS カード）を B-CAS カードスロットに奥までしっかりと挿入し、扉を閉める**

■ **IC カード取り扱い上の注意点**

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC（集積回路）部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■ **IC カードを抜くとき**

1. AC アダプターを電源コンセントから抜く。
2. ゆっくりと IC カードを抜く。

※ AC アダプターがコンセントに差し込まれているときは IC カードを抜き差ししないでください。故障の原因となる場合があります。

※ IC カードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

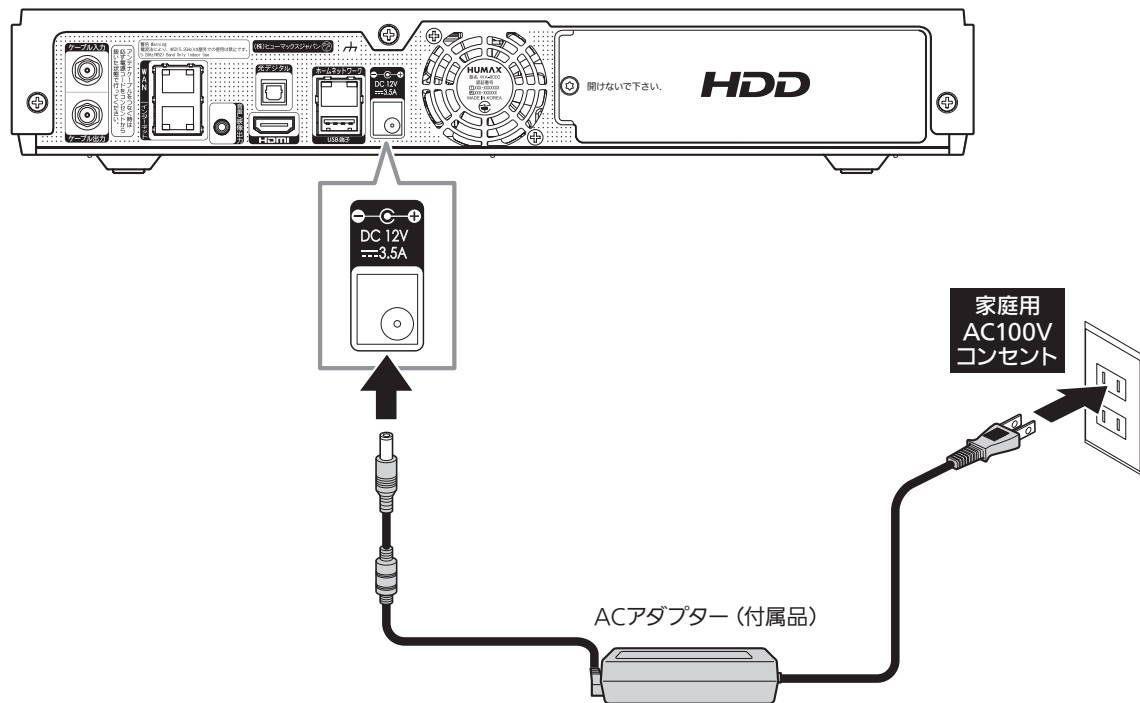
CATV 放送視聴用の IC カードについては、ご契約のケーブルテレビ局または購入店にお問い合わせください。

ご注意

- 本機専用の IC カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向が間違っていると、IC カードは機能しません。

AC アダプターをつなぐ

AC アダプターを交流（AC）100V の電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になり、本体表示部に“**BOOT**”が表示されます。

“**BOOT**”の表示中は、本機の操作はできません。
表示が消えると、本機の操作ができるようになります。

※ 電源オフ（スタンバイ）の状態で電源プラグを抜き、その後電源プラグを差し込むと、“**BOOT**”表示後、電源オフ（スタンバイ）状態になります。

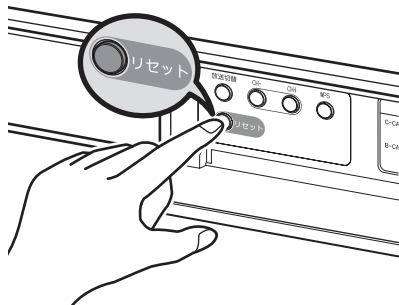
※ 電源オンの状態で電源プラグを抜き、その後電源プラグを差し込むと、“**BOOT**”表示後、チャンネル受信状態になります。

こんなときは

おかしいなと思ったら

リセットボタンを押してください

入力信号や電源の異常、もしくは熱により、まれに本体の操作ができなくなる場合があります。機器が下記のような症状の場合、本体前面のリセットボタンを押してください。

- ボリュームの調整やテレビのボリュームが正常にもかかわらず音がしない。
- 本機からのテレビ画面がまったく動かない。
- 時刻が止まったり正しい時刻と相当の差がある。
- 電源のオン・オフができない。
- 本体のボタンおよびリモコンのボタンが作動しない。

指先で押してください。

お手入れのときは

お手入れの際には、次の点にご注意ください。

- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
- 汚れは柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した布を固く絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

本機のソフトウェアについて

本機はソフトウェア改善のため、放送信号を利用したダウンロードでソフトウェアの変更を行うことがあります。
ダウンロードによって、本書に記載されているソフトウェア仕様が変更される場合があります。

ダウンロードについてはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

修理が必要なとき

修理についてはご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

おもな仕様

デジタル放送受信仕様	受信変調方式	64QAM 256QAM	地上デジタル／ BS デジタル／ CS デジタルの各チャンネル	
			受信周波数	90MHz ～ 1GHz
			入力レベル	49dBμV ～ 81dBμV（平均値）
入出力端子	入力端子	F 型接栓（75 Ω）／ 76MHz ～ 1GHz		
	分配出力端子	F 型接栓（75 Ω）／ 76MHz ～ 1GHz		
	音声・映像出力	1 系統（4 極 AV ミニプラグ）		
	HDMI 映像・音声出力	1 系統		
	光デジタル音声出力	1 系統		
	USB 端子	2 系統（フロントパネル（5V 1A）／リアパネル（5V 500mA））		
	LAN 端子	3 系統（WAN ／インターネット／ホームネットワーク）		
ケーブルモデム部	送信周波数範囲	5MHz ～ 65MHz		
	出力レベル可変範囲	68dBμV ～ 118dBμV（QPSK） 68dBμV ～ 115dBμV（8QAM, 16QAM） 68dBμV ～ 114dBμV（32QAM, 64QAM）		
	受信周波数	90MHz ～ 1GHz		
	入力レベル	49dBμV ～ 81dBμV（平均値）		
WiFi 部	対応チャンネル	IEEE802.11a/n ＜ 5GHz 帯＞　W52（36・40・44・48ch） IEEE802.11b/g/n ＜ 2.4GHz 帯＞　1 ～ 13ch		
電源	使用電源	DC12V（定格電流 3.5A）		
	消費電力	電源オン時	最大 42W	
		電源オフ時（機能待機時）	最小 22.3W（*1）	
本体	外形寸法	370mm（幅）× 55mm（高さ）× 250mm（奥行）		
	本体質量	約 2.65kg（本体のみ）		
	許容周囲温度	0 ～ 40℃		
	許容相対湿度	25%～ 80%（結露なきこと）		
内蔵 HDD	容量	2TB（2000GB）		

*1　STB 内部の処理状況や USB-HDD 等外部機器の接続状況などにより、待機電力は変動します。

※　仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

安全に関する ご注意	ご使用の前には取扱説明書を良くお読みのうえ、正しくお使いください。
	水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。 火災、感電、故障の原因となることがあります。

ご使用のセットトップボックスの点検を！

<熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。>

このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、音や映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

株式会社 ヒューマックスジャパン

〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町 1–8–3　小川町北ビル 7 階

20000-00473　MANUAL/WA8000/100JP